

訪問ガイド 2026

la Citerne Basilique

Istanbul · から 57.50€

https://yerebatan.visit-tickets.com/ja/・優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

ユスティニアヌスの埋められた秘密

GOOGLE 4.6 ★★★★★ 98 521レビュー

TIQETS 4.3 ★★★★☆ 322レビュー

スルタハンメット広場の石畳の下では、6世紀から眠り続ける石の巨人が横たわっている。 ユスティニアヌス1世の治世に建設されたバジリカ地下貯水池は、帝国大宮殿への給水のために築かれた。 この8万立方メートルの水を貯蔵できる巨大な貯水槽は、イスタンブールに点在する数百もの地下貯水槽の中で最大規模のものである。 その名前は、すぐ上に位置する巨大なローマの広場「スタオ・バシリカ」に由来しており、広く信じられている誤解とは異なり、教会には由来しない。 動員された物流上の努力は莫大であった：古代の文献によれば、**7,000**人の奴隷がその建設に従事したと伝えられている。 床は、高さ9メートルの大理石製の336本の柱で支えられており、これらは12列に並べられている。 これらの柱の多くは、略奪された部材であり、以前の建物の遺構から回収されたものや、ビザンツ帝国のさまざまな州から持ち込まれたものである。 一部の柱頭はイオニア式またはコリント式の様式を呈しているが、より希少なものは装飾のないドーリア式である。 何世紀もの間、この貯水槽の存在は一般の人々から忘れ去られていたが、地元住民はその水をくみ上げ続けていた。 公式に記録されたのは、1565年にフランスの旅行家ペトルス・ギリウスが訪れたときである。 彼の著作の中で、彼は柱の間にボートで運ばれ、暗い水の中で泳ぐ魚を観察したと述べており、コンスタンティノープルの地下に埋もれたこの謎の場所に関する最初の正確な視覚的証言を提供している。 シストーンの近代的な再生は、1985年から1987年にかけての大規模な修復工事から始まり、約5万トンの堆積物が除去されたことで、特にメデューサの頭部を彫刻した基礎部分が明らかにされました。 より最近では、2020年から2022年にかけて、イスタンブール大市（İBB）の遺産部門は、歴史的な真実性を保ちながら耐震性を高めるため、古い鉄製の支柱をステンレス鋼に交換して構造を近代化した。

体験

敷居を跨ぐと、空気が変わる。 涼やかな湿気が肌を包み込み、地表の夏の暑さとは鮮やかな対比をなしている。 石段を五十二段下りると、静寂が浅い水のさざ波の音のみで刻まれる、宙に浮いたような世界へと通じている。 闇は穏やかで、間接照明が液体の表面に反射をきらめかせ、独特なシネマティックな雰囲気を醸し出している。 この薄暗さの中で、柱の森は催眠的な迷宮のようにそびえ立っている。 金属製の歩道橋を踏みしめる一歩ごとに、かすかな響きが生まれ、千年にわたって不変な石の堅牢さに対して、現在の瞬間の脆さを思い起こさせる。 それは五感を総動員させる体験であり、地下の広大さの前に自分が小さく感じられ、ビザンチン帝国の歴史のエコーに揺り動かされながら、大理石の各ブロックに浸透するその気配を感じることができる。



訪問の準備

実用的な情報

住所

スルタハンメット地区・地下鉄：タクシム（M2）からT1トラムに乗り換えスルタハンメット駅へ、出口から直接アクセス可能。

営業時間

毎日開館しています。季節や特別なイベントにより、営業時間が多少異なる場合があります。

料金

参考料金：57,50€。購入時に子どもおよびシニア向けの割引を確認してください。

見学所要時間

完全な没入体験には45分から1時間ほどお時間をください。空間は狭いため、急ぐのではなく、音響と湿度を楽しむためにゆっくりと過ごすことをお勧めします。

写真撮影

フラッシュなしでの写真撮影は許可されています。間接照明は独特のシネマティックな雰囲気を生み出します。低い水面の反射が柱の撮影を妨げる可能性があるため注意してください。

対象者

大人と青少年に最適です。狭い空間、滑りやすい床、自然光の不足のため、非常に小さいお子様にはあまり適していません。閉所恐怖症の方は避けたほうがよいでしょう。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

Métro

: Sultanahmet — 2 min à pied

Gare Bisser (7 min)・ハイドルパシャ駅 (15 min)

バス

: スルタンアフメット — 1 min à pied

ビッセル駅 (9 min)・ハイドルパシャ駅 (23 min)

車

ビッセル駅 (4 min)・ハイドルパシャ駅 (15 min)

自転車

ビッセル駅 (4 min)・ハイドルパシャ駅 (19 min)

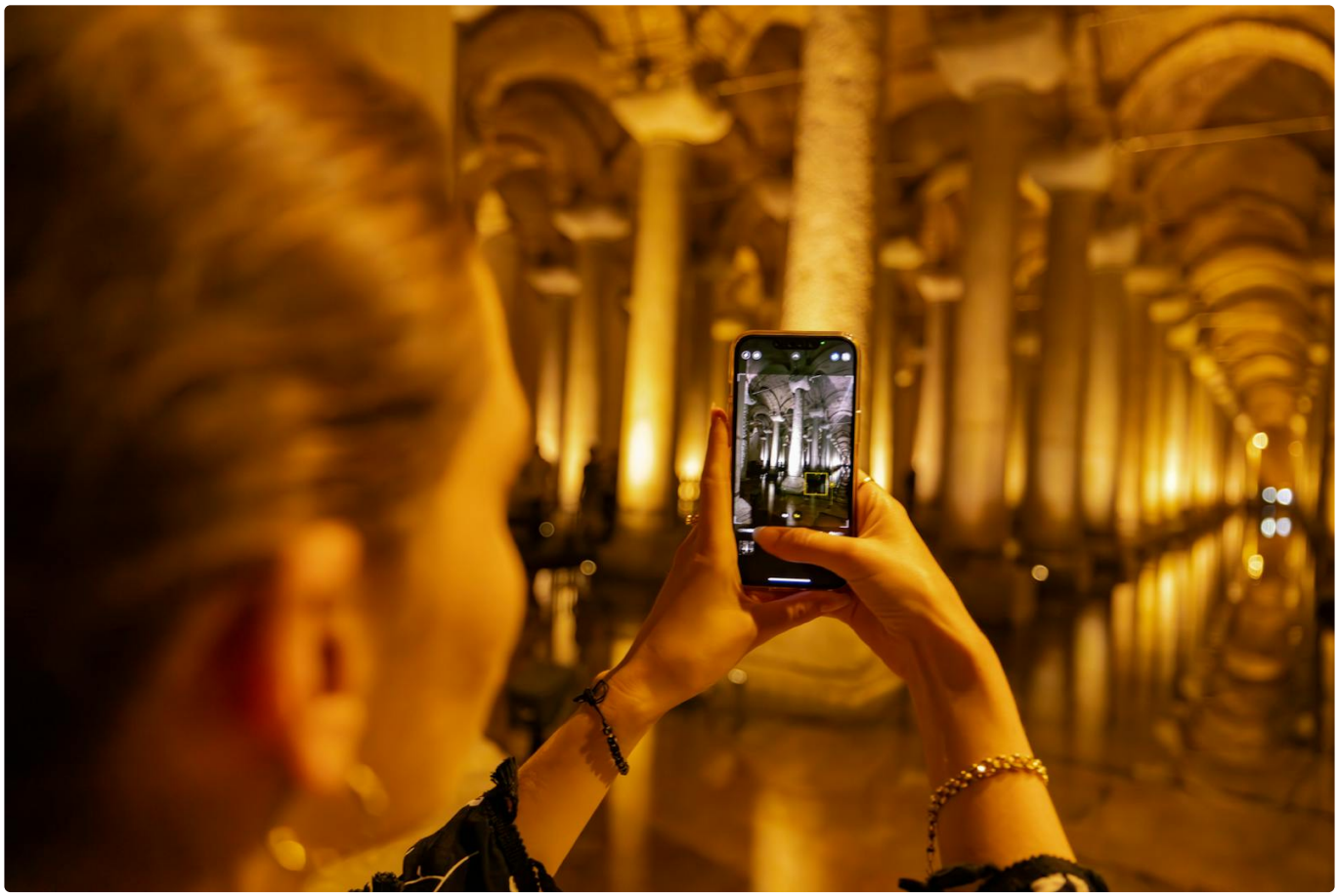
LOCALISATION

Où se trouve la Citerne Basilique ?



📍 Alemdar Mh., Yerebatan Cd. 1/3 — 34410 Istanbul

🌐 41°0.503′ N, 28°58.673′ E



組織

サイトの構造を理解する

地下1階（受付エリアと下り階段）

ここから体験が始まり、52段の石段を下ります。訪問者はシトーン（貯水池）の核心部に入る前に、文脈情報を提供される受付エリアを通過します。音響はすでに変わり始め、外部の都市の騒音を遮断しています。

レベル0（柱の森）

見学コースの中核は、水面の上に設置されたモダンな歩道橋で行われます。ここでは、336本の大理石の柱とその多様な柱頭を鑑賞できます。また、有名なメデューサの頭部もここにあります。そのうち2つは、支柱の基礎部分に逆さまに置かれています。

特定エリア（期間限定展示）

シーズンに応じて、「Daha Derine」などのデジタル展示に特化したエリアが開放される場合があります。これらのスペースでは、壁や柱へのプロジェクションマッピングを用いて現代的なインタラクティブ・インスタレーションを創り出し、その場所の歴史的な認識を豊かにしています。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス

エレベーターでのアクセスは可能ですが、内部空間は狭いです。曜日ごとのバリアフリー対応の詳細を確認してください。

👨‍👩‍👧 ファミリー向け

暗さ、湿度、および狭い空間によるストレスの可能性から、非常に小さいお子様にはあまり適していません。

🎧 オーディオガイド

フランス語, 英語, トルコ語, ドイツ語



必見スポット

選択

絶対に発見すべき見どころ

01 南東側の柱の基礎

メドゥーサの頭

白い大理石で彫られたメドゥーサの頭が二つ、二つの柱の基礎に組み込まれています。向きは異なっており、一つは逆さまに、もう一つは横倒しに配置されています。この配置には多くの説があり、ゴルゴーンの視線の力を無効化するというものから、建設時の純粋に実用的な考慮事項まで様々です。

> 💡 地元の伝説によれば、メドゥーサが空を見上げて通行人を石に変えないようにするため、頭がそう配置されていたとされていますが、これは **spoliation**（再利用）の技術的現実とは大きく異なる解釈です。

02 システルヌ全体

柱の森

高さ9メートルの大理石製336本の柱は、息を呑むような建築景観を形成しています。12列に並べられた配置により、薄暗い空間の中で無限の透視効果が生まれます。花崗岩や様々な種類の大理石を含む素材の多様性は、これらの柱が収集された時代のビザンチン帝国の広大さを物語っています。

> 💡 一部の柱は、アヤソフィアなどの近隣の建設現場から直接運ばれてきたものであり、後期古代において高貴な資材を再利用する慣習を示しています。

03 中央列

鶏眼の柱

特定の柱には、鶏眼、傾斜した枝、そして涙を表現した浮き彫りが装飾されている。この図像学的モチーフは希少であり、4世紀のテオドシウス1世凱旋門の装飾に類似している。ユスティニアヌス朝の様式的影響を研究する美術史家にとって、これは焦点となる要素である。

> 💡 この唯一無二の彫刻は、システルン（貯水槽）が単なる実用施設ではなく、装飾が強い象徴的意味を持っていた空間であったことを思い出させる。

04 JENNIFER STEINKAMP ET AL. 変換可能な空間

インストール作品『Daha Derine』

デジタル展覧会『Daha Derine』（より深くへ）は、光とプロジェクションを用いて記憶と水のテーマを探求しています。現代の作品は古代の建築と対話し、壁を没入型シネマのキャンバスに変えます。これは、現代的な観客にとってサイトの複雑な歴史をアクセス可能にする革新的な方法です。

> 💡 アーティストたちはセンサーを使用して来訪者の存在に合わせてプロジェクションを調整し、人間と地下空間との間の動的な相互作用を生み出しました。

05 すべての柱

イオニア式とコリント式の柱頭

柱頭の注意深い観察は、この遺跡のスタイルの豊かさを明らかにします。その大半はイオニア式またはコリント式で、繊細な渦巻き文様とアカンサス葉が特徴です。いくつかのドーリア式の柱頭はより簡素で装飾がなく、興味深い対比を呈しています。この多様性は、使用された石材の異なる地理的由来を反映しています。

> 💡 ビザンティンの職人は、既存の柱頭を新しい構造に更好地適応させるために時折修正し、これらの建築的適応の目に見える痕跡を残しました。

06 歩道の下

ビザンツ風レンガの床

最近の修復工事により、6世紀に遡るビザンツ風レンガのオリジナルの床が部分的に露出しました。それ以前は、20世紀半ばに追加されたコンクリートで覆われていました。この荒々しく、湿り気を帯びた古びた質感は、訪問者を現代の仕上げとは異なる古代構造物の物理的現実へと結びつけます。

> 💡 1,440立方メートルのコンクリートを除去することで、レンガの施工詳細が明らかにされ、当時の水工技術を理解するための手がかりが得られました。

07 外周部

耐火レンガの壁

厚さ4メートルの耐火レンガで造られ、防水モルタルで仕上げられた厚い壁は、タンクへの浸水から保護しています。その熱質量により、真夏でも内部の温度が一定かつ涼しく保たれています。これは1500年間この構造を維持してきた工学的な偉業です。

> 💡 石灰とポゾランを主成分とする防水モルタルの正確な組成は、これらの特性を現代に再現しようとする建築化学者たちの研究対象であり続けています。

08 水面

水面の反射

訪問者の安全を確保するため水位は低く保たれているものの、水面の反射は視覚体験の中核をなす要素であり続けます。柱や光の像を二重化し、息を呑むような対称性を生み出します。この要素こそが、この場所に夢のような、写真映えする雰囲気を賦予しているのです。

> 💡 歴史的には、この水が宮殿に供給されていたため、その水質は厳しく監視されていました。現在では、主にその美的外観が重視されています。

アドバイス

完璧な訪問のための私たちのヒント

タイミング

大混雑を避けるため、午前9時30分前または午後4時以降に到着してください。午前10時から午後3時の間は大勢の観光客で賑わい、静かな鑑賞が難しくなり、写真撮影も困難になります。

チケット

必ず「スキップ・ザ・ライン」チケットを選択してください。メインエントランス前の行列は非常に長く、特にハイシーズンには途切れなくなることがあります。オーディオガイドが含まれているか確認してください。

散策ルート

歩道で案内されている直線コースに従ってください。柱の間をショートカットしようとしないでください。床が滑りやすく、空間も狭いためです。主要な見どころでは立ち止まってゆっくりお楽しみください。

写真

軽量な三脚を使用するか、柱にスマートフォンを固定して長時間露光撮影を行ってください。照明が弱く、浅い水面の反射があるため、シャープな画像を得るにはある程度の安定性が不可欠です。

休憩

館内にはカフェがありません。スルタハンメットにある徒歩5分以内の多数のレストランで休憩をとることをお勧めします。特に、その場所の感動を消化するために、見学後に訪れるのが理想的です。

子ども

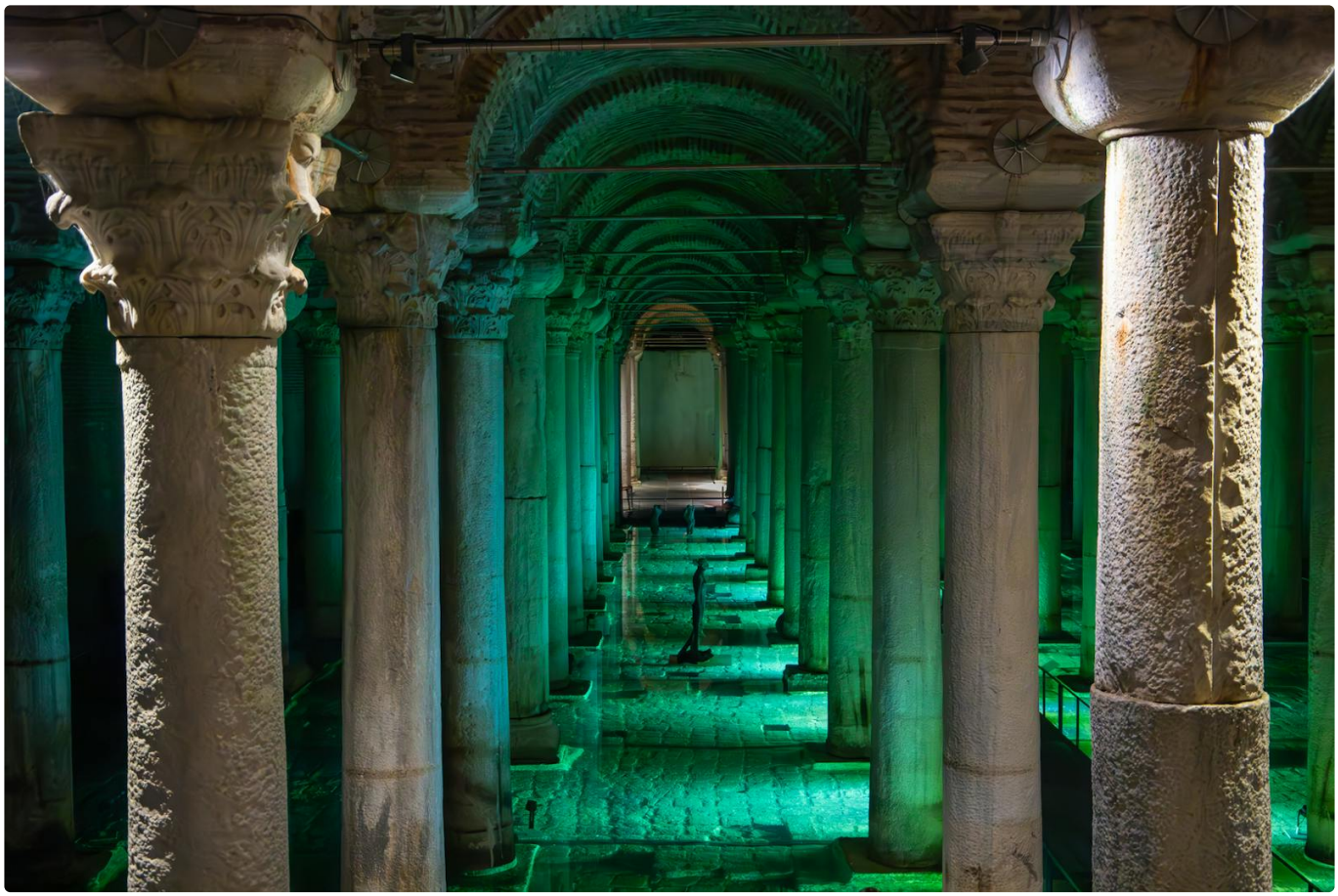
暗さ、湿気、狭い空間のため、非常に小さい子どもにはあまり適していません。滑りやすい通路では、履き口の閉じた靴を履かせ、手をしっかり握ってください。

オーディオガイド

オーディオガイドは強く推奨されており、フランス語、英語、トルコ語、ドイツ語で利用可能です。シストーンの機能や柱の由来を理解するための重要な歴史的背景を提供し、訪問体験を大きく豊かにします。

快適さ

地面が滑りやすい場合があるため、履き心地の良いクローズドトゥの靴を履いてください。夏であっても地下は外よりもかなり気温が低いため、薄手の衣類を一枚追加で用意してください。



よくある質問

よくある質問

事前に予約する必要がありますか？

はい、オンライン予約は強く推奨されます。特にスキップザラインチケットの場合です。10時から15時は最も混雑しており、物理的な行列は1時間を超える可能性があります。オンラインで購入すると優先入場を保証されます。

どのくらい前にキャンセルできますか？

キャンセルポリシーは購入時に選択したプランによって異なります。ほとんどのフレキシブルチケットは、訪問の24時間前までキャンセルが可能です。詳細については、チケットの特定条件をご確認ください。

現在プロモーションはありますか？

当プラットフォームでは定期的にプロモーションオファーをご利用いただけます。購入直前に「チケット」セクションを確認し、スキップザラインまたはガイド付きプランの現在の最高の割引を利用することをお勧めします。

聖ソフィアとの組み合わせは可能ですか？

バジリカ・シスターンと聖ソフィアを含むコンビネーションパスがあります。両者はわずか150メートルしか離れていません。このオプションは、スルタハンメット地区での1日を最適化し、総額を節約するために理想的です。

見学はどのくらい続きますか？

貯水池全体を巡るには約45分から1時間かかります。ルートは直線的ですが、没入型の雰囲気が建築的詳細や場所固有の音響に留まるよう誘います。

ご存知ですか？

エピソード＆トリビア

誤解を招くバジリカの名前

定説とは異なり、「バジリカ」という名前は地下教会に由来するものではありません。これは、シストーンの真上にある巨大なローマの公共広場である**Stoa Basilica**（バシリカ・ポイキレ）を指しています。この歴史的詳細は、観光客の間でよく見られる誤解を正すものです。

ペトルス・ギリウスによる再発見

数世紀にわたり忘れられていたこのシステルヌは、1565年にフランスの旅行家ペトルス・ギリウスによって記録された。 彼は柱の間にボートで運ばれ、魚が泳いでいるのを見たことを述べている。 この物語は、ヨーロッパの一般大衆にとって、その場所が継続的に存在していることを示す最初の書面による証拠である。

現代の耐震補強

2020年から2022年にかけて、İBB Mirasチームは地震への耐性を高めるため、古い鉄製の棒をステンレス鋼に交換しました。この技術的介入により、元の構造を保全しつつ、将来数世紀にわたる安全性を確保することができました。

5万トンの堆積泥が除去された

1985年から1987年にかけての大規模な修復作業により、数世紀にわたって蓄積した5万トンの堆積泥が除去されました。この壮大な作業によって、それまで泥に埋もれていたメデューサの頭部で装飾された彫刻された柱脚が初めて姿を現しました。

博物館周辺

シスタン・バジリカは、ユネスコ世界遺産の中心に位置する歴史的なスルタンアフメット地区に理想的な立地を誇っています。 わずか150メートル先に、聖ソフィア大聖堂が位置しており、その広大で開放的な空間は、地下貯水槽の閉鎖的な雰囲気と見事な対比を成しています。 もう少し先へ進むと、ブルーモスクは青い光に包まれた静謐なひとときを提供し、トプカピ宮殿ではオスマン帝国の壮大な歴史をさらに深く体感できます。 エネルギーを回復するために、多くの伝統的なレストランでは、ケバブのような本格的なトルコ料理を提供しており、下山という肉体的な努力の後に活力を取り戻すことができます。 近くにあるグランドバザールも、宿に戻る前にのんびり散策し、手作りのお土産を購入するには最適な場所です。



バジリカ・シテルヌを去ることは、時が止まった断片を背後に残していくことである。 ビザンティンの闇への没入は、単なる観光地とは比べものにならないほど深く、消え去ることのない痕跡を残す。 古代建築に魅了されている方でも、都市伝説に惹かれている方でも、この場所は絶対的な静観の場を提供します。 閉店前に戻ってきて、水面に映る最後の光を捉えてください。まさにその瞬間が魔法のように作用し、石を詩へと変えてくれるのです。